

25盛財第165号
平成25年12月5日

絆の会

幹事長	高	橋	重	幸	様
	伊	勢	志	穂	様
	鈴	木	俊	祐	様
	鈴	木	一	夫	様

盛岡市長 谷 藤 裕 明

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望について（回答）

平成25年11月5日付けで要望のありましたこのことにつきまして、別紙のとおり回答いたします。

絆の会

盛岡市議会 会派「絆の会」 平成 26 年度予算要望への回答

目次

(部 等 名) (頁)

市 長 公 室	1
総 務 部	4
財 政 部	7
市 民 部	9
環 境 部	15
保 健 福 祉 部	18
市 立 病 院	22
商 工 観 光 部	23
農 林 部	27
中央卸売市場	30
建 設 部	31
都 市 整 備 部	37
玉山総合事務所	41
上 下 水 道 局	43
教 育 委 員 会	45

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名：絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【市長公室関係】 P 1 ・ <u>広域連携を推進し、施設の機能分担や人事交流を推進されたい。県との二重行政を解消されたい。</u> ・ <u>指定管理者制度やNPO委託の検証をされたい。特定の団体や役職者に偏っていないか検証されたい。特に従業員の労働条件が劣悪なものにならないよう指導されたい。</u>	広域連携の推進につきましては、8市町村で構成する盛岡広域市町村長懇談会（平成26年1月からは、盛岡広域首長懇談会）において、人材育成や観光振興、国体、公共交通、企業誘致、消費生活、食・農推進の7つの分野において共通する行政課題に連携して取り組んでおり、今後におきましても、新たな分野も含め連携を深めるよう努めてまいります。 また、県と市の二重行政の解消につきましては、他都市での取組状況等を参考にしながら、研究してまいりたいと存じます。 〔人事交流については、総務部職員課〕 （市長公室企画調整課・総務部職員課） 指定管理者制度につきましては、これまで暴力団関係者の排除に関する規定の追加や、指定管理料の上限額の設定、燃料費の調整制度の運用など、随時見直しを図りながら運用してまいりました。また、指定管理者による施設の管理運営の状況については、指定管理者及び設置者である市において評価することとしているほか、公正かつ客観的視点による第三者評価や、市による統一的な視点によるモニタリングを実施するなど、適切なサービスの提供につながるよう努めております。 指定管理者の選定に当たりましては、「公の施設の指定管理者制度導入に関する基本的な考え方」に基づき、合理的な理由がある場合を除き、原則公募により選定しており、求められるノウハウや管理運営能力によっては、結果として同一の団体が指定される現状がありますが、募集の際は、事前にホームページで募集施設の紹介をするほか、申請予定者説明会を開催するなど募集情報の周知を図りながら、より多くの団体が応募できるように努めております。 また、施設で働く職員の労働条件につきましては、指定管理者の選定の審査項目に「適正な労働状況の確保」を設けており、定期的に賃金や労働時間等の労働条件について調査を行うなど、その把握に努めております。 〔NPO委託の検証については、市民部市民協働推進課〕 （市長公室行政経営課・市民部市民協働推進課）

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
包括外部監査の措置状況の実施および進捗状況を確認されたい。	包括外部監査に係る指摘事項につきましては、監査人から報告等を受けた際に策定する措置計画に基づき所管において対応しておりますが、対応が遅れている項目も見られることから、聴き取りをするなどして状況の把握に努めてまいります。 なお、措置を講じたときには、地方自治法の規定により、速やかにその内容を監査委員に通知することとされており、監査委員は未措置事項の状況と併せてこれを公表しております。 （市長公室行政経営課）
公共施設アセットマネジメントの実施と<u>自治体経営の見通しを示されたい。</u>	〔公共施設アセットマネジメントについては、財政部資産管理活用事務局〕 これまでの取組の成果を踏まえるとともに、経営環境の変化に対応しながら、持続可能なまちづくりのため策定した「第二次盛岡市自治体経営の指針及び実施計画」に基づき、自治体経営を推進してまいります。 （財政部資産管理活用事務局・市長公室行政経営課）
福祉分野を予算重点施策に位置付けられたい。	重点的に取り組む施策の決定につきましては、総合計画に掲げる41の施策について、各施策に設定されている成果指標の達成度及び各施策の取組結果に対する市民満足度を基に実施する達成度評価を踏まえ、優先度評価を行うとともに、この結果に基づき、施策の成果実績、配分予算の状況、総合計画に掲げる基本目標の実現に向けての関連性などについて、総合的に検討のうえ行っております。 平成26年度におきましては、福祉分野の施策のうち、「みんなで支える子育て支援の展開」を予算重点配分施策、「高齢社会に適応した高齢者福祉の充実」及び「暮らしを支える制度の充実と自立支援」を主要施策とし、成果の向上に取り組んでいくこととしております。 （市長公室行政経営課）

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名：絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【総務部関係】 P 1 ・ 市庁舎に充実した総合受付の設置や情報提供体制の強化をされたい。	市庁舎の総合受付につきましては、現在、本庁舎1階に窓口案内所を設置し、専任の窓口案内人（非常勤）2人と広聴係3人の職員体制により次の業務を行っております。（平成24年度案内実績 50,936人） ① 庁内案内や各課の業務の紹介 ② 市内観光案内 ③ 他官庁・他機関の案内 ④ 苦情の受付や相談 市民からは、広聴業務も含めた幅広い分野の問い合わせがあり、市民の多様なニーズに的確に対応することが求められております。そのため、窓口案内所が市民に親しまれ、多様な相談に適切に応じられるよう、今後においても、より一層職員の市政に関する研修と接遇マナーの徹底に努めてまいります。 また、受付窓口には、市で作成したパンフレットやチラシ等を用意し配布しておりますが、最新の情報を届けることができるよう充実してまいります。 （市長公室広聴広報課）
【商工観光部関係】 P 3 ・ 石川啄木記念館の活性化および<u>函館市・文京区との連携や友好関係の締結を促進されたい。</u>	（前段は、教育委員会事務局歴史文化課） 本市は、函館市とは「啄木かるた大会」を相互に開催しておりますし、東京都文京区とは平成24年7月に「石川啄木ゆかりの地」地域文化交流に関する協定を締結するなど、両都市とは、「啄木」を縁とした交流を進めております。 平成27年度には、新幹線が東京から函館までつながり、本市、函館市、文京区がより身近な都市となりますことから、今後の交流の広がりや活動状況を見ながら、対応してまいりたいと存じます。 （市長公室企画調整課・教育委員会事務局歴史文化課）

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【市長公室関係】 P 1 ・ 広域連携を推進し、施設の機能分担や<u>人事交流を推進</u>されたい。 ・ 市の各種審議会や協議会の活性化や各層の参加を強化されたい。また、特定の人へ偏ることを防いで頂きたい。 ・ 財産版国民皆保険制度（天災等の際の個人財産保証）の創設を国に働きかけられたい。 【総務部関係】 P 1 ・ 東日本大震災に対する支援を継続されたい。特に代替の支援等の保障がない場合は、終了しないでいただきたい。 ・ 職員コンプライアンス教育の徹底をされた	〔広域連携等については、市長公室企画調整課〕 職員の<u>人事交流</u>につきましては、平成21年度から広域市町村長懇談会において共有可能な研修について相互に参加を呼び掛け、実施しております。今後におきましても、職員間の相互理解と能力・資質向上のため継続実施していくとともに、人材育成を含めた定期的な情報交換を実施してまいります。 （市長公室企画調整課・総務部職員課） 各種審議会等につきましては、「審議会等の設置等及び委員の選任に関する指針」を定め、より多くの市民の市政への参画を進めるため、公募委員枠の導入や女性委員の登用の推進に努めるとともに、当該団体の長に固定した人選とならないよう配慮しているところです。今後も、審議会等の所管部署を中心に適正な委員構成となるよう、専門的知識の必要性など、委員に求められる要件を十分に勘案し、実効性のある審議会等の運営に努めてまいります。 （総務部職員課・市民部男女共同参画青少年課） 天災等により被害を受けた個人財産については、火災保険、地震保険などすでに一般的な方法・制度がありますなかで、今後の国の動向に注目してまいります。 （総務部危機管理課） 平成23年6月に策定しました「東日本大震災に係る盛岡市復興推進の取組方針」に基づき、震災復興に関する各般の支援を進めているところですが、この取組方針の期間が平成25年度までとなっていることから、現在、平成26年度以降において取り組むべき内容を整理しているところであり、引き続き、被災者・被災地のニーズの把握に努め、必要な支援を行ってまいります。 （総務部危機管理課） 職員に対するコンプライアンス教育につきましては、「盛岡市市政における公正な職務

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
い。	の執行の確保に関する条例」に基づき、新採用職員や中堅職員、係長級職員を対象とした全ての階層別研修に加え、管理職を対象とした特別研修において、コンプライアンスに関する研修を実施しているほか、新たに策定した「職員倫理規程」に基づき、各職場において月1回以上の服務に関するミーティングを実施しているところです。今後におきましても、コンプライアンスに係る研修に加え、職場での取組の徹底により、公務員倫理及び法令遵守に関する職員の意識の徹底と職場風土の改革に努めてまいります。 （総務部職員課）
地域防災計画の市民への浸透を図りたい。また自主防災隊組織への予算措置を検討されたい。	地域防災計画につきましては、自主防災組織の結成促進と組織の育成強化に取り組んでいる中で周知に努めているところですが、今後とも出前講座等の機会を活用し、市民への浸透を図ってまいります。また、自主防災組織への予算措置につきましては、平成19年度から自主防災組織育成事業として、コミュニティ地区を対象に地区内の各町内会に防災資器材等を配布しております。今後におきましても、コミュニティ地区単位での自主防災組織の結成を働きかけながら、各地区の活動支援を継続してまいります。 （総務部消防防災課）
旧玉山支所の消防屯所へ和室休憩室を整備し、日戸地区防災拠点とされたい。	市消防団第24分団2部日戸の現在の消防屯所は、昭和53年建築の建物で、約40㎡の車庫と約30㎡の休憩室が備えられているところではありますが、老朽化も懸念されることから、市内の他の消防屯所等の状況を踏まえながら、計画的に整備を進めてまいりたいと存じます。 （総務部消防防災課）
非常勤の障がい者の複数年度採用の方法を検討し、実施されたい。また障がい者法定雇用を確保されたい。	非常勤職員については、業務の必要性に応じ、1年を超えない範囲で期間を定め任用しており、必要に応じ、再度の任用を行うなど柔軟に対応しているところです。複数年雇用については、雇用不安を解消する方策の一つと考えられますが、当初から複数年で雇用することについては、雇用のミスマッチ等も懸念されることから、業務継続の必要性や任用に対する希望等を十分に確認した上で、任用の更新等を行ってまいりたいと存じます。 また、障がい者の法定雇用率につきましては、身体障がい者を対象とした特別枠の職員採用試験や「障がい者の非常勤職員名簿登録制度」を活用した非常勤職員の採用によ

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
- 市役所の建て替えについて市民アンケートを実施して頂きたい（場所や合併協定を含め）。 - 本庁にタクシー乗り場を設置していただきたい（県振興局とも連携して）。 - 条例を制定するだけではなく、条例の廃止や時代にあった条項の変更も行われたい。 - 洪水ハザードマップの検証をされたい。	り、必要人員は充足しているところですが、市を始めとした公的機関は、障がい者の方々の雇用の促進について民間事業主に対し率先垂範すべき立場にありますことから、引き続き、障がい者の雇用の場の確保に努めてまいります。 （総務部職員課） 市庁舎の建て替えにつきましては、行政運営上極めて重要な課題であり、市民の意見を広く聴きながら事業を進めていく必要があると考えております。今後、庁舎建設の方向性が明らかとなり、事業スケジュールを策定していく段階において、市民アンケートについても検討してまいりたいと存じます。 （総務部管財課） 本庁舎のタクシー乗り場設置につきましては、駐車スペースを確保できないことから、設置は困難と考えておりますので御理解願います。 なお、県振興局では、タクシー乗り場を設置する予定はないと伺っております。 （総務部管財課） 条例の廃止や条項の変更につきましては、法令として一定の規律性を保ちながら、関係法令の改正や施策の方向を考慮し、検討を加え、必要な改正や廃止を行っておりますので、今後とも必要に応じて所要の措置を講じてまいります。 （総務部総務課） 平成25年8月から10月にかけて発生した大雨・洪水、台風被害の教訓を踏まえ、各地域の危険情報を住民が予め認識しておくことは重要なことであり、これらを参考にして防災マップの作成や自主防災組織の育成強化に活かしてまいりたいと存じます。 また、避難勧告等の重要性について市民の意識の醸成を図るため、防災マップの中に避難行動要領などの説明を加えるほか、自主防災組織等の研修などの機会を捉えながら周知してまいりたいと存じます。 （総務部消防防災課）

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【市長公室関係】 P 1 公共施設アセットマネジメントの実施と自治体経営の見通しを示されたい。	公共施設アセットマネジメントについては、「公共施設保有の最適化と長寿命化のための基本方針」を平成25年6月に策定し、公共施設保有の最適化及び長寿命化の計画の策定への提言をいただくため、市民討議会を平成25年10月に開催した。今後、施設情報を公開するとともに施設評価を行い、平成26年度以降は、施設保有量の最適化及び長寿命化の計画策定を行う予定としております。 〔自治体経営の見通しについては、市長公室行政経営会〕 (財政部資産管理活用事務局・市長公室行政経営課)
【財政部関係】 P 1 予算の枠配分方式の弊害について検証されたい。	予算編成に当たっては、行政評価を活用した施策別予算配分方式を採用し、総合計画に掲げる41の施策について、アンケートに寄せられた市民の各施策に対する満足度や期待度も含めた評価結果に基づき施策の重点化を図り、さらにまちづくり懇談会等における要望、意見なども踏まえながら、限られた財源をどの施策、どの事務事業に振り向ければ市民福祉の向上につながるかという観点での予算編成に努めております。 なお、予算編成方針につきましては、毎年度見直しを行っているところです。 (財政部財政課)
各種基金の早急な積み増しを図られたい。	安定した財政運営のため、各種基金については財源調整のため有効に活用してまいりたいと存じますが、厳しい財政状況が続いており残高が十分とは言えない基金がございますことから、財政状況を勘案しながら積み立てを行ってまいりたいと存じます。 (財政部財政課)
借入金の更なる圧縮に努められたい。	第一次及び第二次盛岡市行財政構造改革の方針及び実施計画により市債残高の縮減に努めてまいったところであり、今後も財政規律に則り、市債残高の縮減に努めてまいります。 (財政部財政課)
岩手競馬の収支および今後の見通しについ	岩手競馬におきましては、これ以上の赤字を生じさせないために、「存廃基準」を設定

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
て，説明責任を果たされたい。 ・ 未収金解消のための施策の実施と収納率の向上を図られたい。市の債権の名寄せを実施され回収を措置されたい。	し運営を行ってきているところですが，収支の見直しが必要となった場合，構成団体や競馬組合，競馬関係者から構成される『運営協議会』において，公開を原則として調整を行っているところであります。 また，市としても定例会ごとに開催している全員協議会におきまして，発売額の状況や収支見通しなど最新の情報をお知らせしているところでございます。 今後とも，岩手競馬の収支や今後の経営方針などにつきましては，機会をとらえて情報の公開等を行っていく方向で，競馬組合や他構成団体とともに努めてまいります。 （財政部岩手県競馬組合経営改善対策事務局） 平成14年9月に「盛岡市市税等収納率向上対策推進本部」を設置し，収納率の向上及び累積滞納の縮減に向け取り組んでまいりました。 平成25年7月に開催した上記本部会議において，①全庁的取組みの推進②主な滞納事案の債権の管理③盛岡市納税推進センターの運営④納付機会の拡大等納付機会の充実⑤「岩手県地方税特別滞納整理機構」の活用⑥滞納整理等に係る具体的な数値目標の設定を25年度の基本方針として決定し，市税等の自主財源の確保を図るため，滞納整理の厳正化や効率的な収納体制の整備に全庁を挙げて取り組んでおります。 平成26年度におきましては，振替手続の簡素化による口座振替の推進，盛岡市納税推進センターにおける催告を市税外への拡大も予定しているほか，コンビニ収納の取扱税目等の拡大について27年度実施に向け対応をすることとしており，収納率の向上及び累積滞納の縮減に向け取組を進めてまいります。 債権の名寄せにつきましては，賦課担当所管課が徴収までを一元的に行うこととしておりますが，公債権につきましては，必要に応じ納税課及び税外歳入担当課が連携して取り組み，歳入の確保を図っております。 （財政部納税課） ふるさと納税の促進及び広告収入を図るための方策として，市のホームページで周知を図っているほか，東京盛岡ふるさと会等を通じてチラシの配布を行いPRに努めているところであります。 （財政部財政課・市民税課）

P 2

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名：絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【市長公室関係】 P 1 - 指定管理者制度やNPO委託の検証をされたい。特定の団体や役職者に偏っていないか検証されたい - 冬季五輪誘致や冬季国際スポーツ大会誘致を促進されたい。 - 市の各種審議会や協議会の活性化や各層の参加を強化されたい。また、特定の人へ偏ることを防いでいただきたい。	〔指定管理者制度の検証については、市長公室行政経営課〕 市は、受託者となったNPOと緊密に連携し、意思疎通を図りながら適切な指導・監督・助言に努めております。また、履行能力及び競争力の強いNPOの絶対数が少ないという現状がありますことから、今後さらに適切な委託の履行管理及び庁内の連携を図りながら、NPO団体の育成に努めてまいりたいと考えております。 （市長公室行政経営課・市民部市民協働推進課） 国際レベルの大会を開催することは、地域にインフラ整備効果や経済効果などをもたらすほか、トップアスリートの競技を間近に観戦できることで、市民のスポーツ人口の拡大や競技力の向上にも寄与するものと考えております。また、その一方で誘致に向けた市民意識の醸成、誘致体制の構築、又は経済的負担などの課題があるものと存じております。つきましては、情報収集に努めながら、盛岡市スポーツ推進計画の施策に位置付けている「新たなスポーツ推進体制の構築」の検討を進める中で、大規模イベント招致の一つのテーマとして研究してまいりたいと存じます。 （市民部スポーツ推進課） 各種審議会等につきましては、「審議会等の設置等及び委員の選任に関する指針」を定め、より多くの市民の市政への参画を進めるため、公募委員枠の導入や女性委員の登用の推進に努めるとともに、当該団体の長に固定した人選とならないよう配慮しているところです。今後も、審議会等の所管部署を中心に適正な委員構成となるよう、専門的知識の必要性など、委員に求められる要件を十分に勘案し、実効性のある審議会等の運営に努めてまいります。 （総務部職員課・市民部男女共同参画青少年課）
【市民部関係】 P 2 岩手国体の成功に向け市民の力を結集されたい。完全国体の際の主会場は盛岡にされた	平成28年開催の「希望郷いわて国体」は、東日本大震災からの復興のシンボルと位置づけられており、復興に向かう姿を全国に発信し、感謝の意を表すため、30万市民が一

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名：絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
い。	体となって国体の成功に向けた取り組みをしていくことが重要であると存じます。マスメディアを通じた情報提供やノベルティグッズの配布など、積極的な広報活動を通じて気運の醸成を図りながら、スポーツパルやボランティアとして多くの市民の皆様に参加していただけるような体制作りを進めていくとともに、結集された市民の力が国体終了後も継続的に市民協働のまちづくりに生かせるように努めてまいりたいと存じます。 また、岩手県では、本大会と合わせて冬季大会を開催し、本県初の完全国体としての実施に向けた手続きを進めておりますが、アイスホッケー及びフィギュアの競技会場として、市施設のアイスアリーナと通年型スケートリンクが予定されておりますことから、その会場地として協力してまいりたいと存じます。 （市民部スポーツ推進課国体推進室）
スポーツ振興をされたい。指導者を招聘して市民の競技力向上を図られたい。	平成25年3月に策定いたしました「盛岡市スポーツ推進計画」に基づき、関係機関、団体、そして市民一人ひとりと連携・協働しながら、“スポーツの力が盛岡の未来を創る”を基本方針として、すべての市民がスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康でいきいきとくらすことができる盛岡のまちづくりを目指してまいりたいと存じます。 また、競技力向上を図るうえで、スポーツインストラクター等の指導者の確保、育成は重要な要素であると存じますので、市内のスポーツ団体を統括する盛岡市体育協会を中心に、指導者の量的・質的な需要に応えられるよう、必要な指導者の確保、育成に努めてまいります。 さらに、盛岡市職員のスポーツ枠採用により、競技力の向上を図るとともに、国体終了後においても指導者として次世代の選手育成に携われるよう取り組んでまいりたいと存じます。 （市民部スポーツ推進課）
町内会への補助金を増額されたい。 また、各種補助金の下限撤廃など小規模町内会へも配慮されたい	平成25年度の街灯設置費補助につきましては、節電効果の高いLED灯を設置する場合に限り、補助率を6割から7割に引き上げた例がありますが、現在の市の財政状況では、他の補助制度も含め、現行の補助制度の中でさらに補助率や補助上限を引き上げることは難しいものと考えておりますので御理解くださるようお願いいたします。 また、平成25年度に策定作業を進めている盛岡市市民協働推進指針において、26年度以降に町内会等を対象とした協働推進計画の策定を考えておりますことから、その計画

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名：絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
- 補助金を減額しておきながら，別の補助金を創設している。以前の水準に戻すことも検討されたい（町内会行事や伝統行事などで補助金の削減がある一方で別口では，補助金の受け取れる制度を作っている現状がある）。 <u>歩行者の安全</u>とくに通学路の安全対策を強化されたい。 - 特定の市民に複数の役職が集中している実態を把握され，市民参加が市民負担となっていないか実態を調査されたい。	策定作業の中で小規模町内会への対応も合わせて検討してまいりたいと存じます。 （市民部市民協働推進課） 平成23年4月に策定した「盛岡市地域協働推進計画」に基づき，地区の多様な主体により地域の課題の解決や将来像の実現に向けた「地域協働」に取り組んでいる地区に対する補助制度を設けております。 この補助制度においては，地区の計画を策定する経費や計画に基づく事業費を助成しており，地区のニーズに合ったテーマに取り組むことが可能でありますことから，活用を検討いただきたいと存じます。 また，今年度策定作業を進めている盛岡市市民協働推進指針において，26年度以降に町内会等を対象とした協働推進計画の策定を考えておりますことから，その計画策定作業の中で使いやすく，補助申請手続が簡素化された補助制度の構築等を検討してまいりたいと存じます。 （市民部市民協働推進課） 歩行者の安全対策につきましては，交通指導員による通学路などの街頭指導や交通安全季節運動期間を中心とした啓発活動，高齢者への夜光反射材の貼付活動，市交通安全指導車による啓発活動などを行っており，今後も，関係機関と連携して安全対策を強化してまいりたいと存じます。 〔通学路の安全対策については，教育委員会学校教育課〕 （市民部くらしの安全課） 市は，地域で開催される懇談会等において，担い手不足により町内会役員の方々など特定の方々に様々な役職が集中し，負担になっているとの実態を伺っておりますことから，町内会長への文書送付を一本化したほか，各課の所管している補助金申請を市民協働推進課や各支所等でも受付を行うなど，町内会役員の方々等にかかる負担の軽減に取り組んでまいりました。 また，今年度策定作業を進めている盛岡市市民協働推進指針において，26年度以降に町内会等を対象とした協働推進計画の策定を考えておりますことから，その計画策定作業の中で改善策について検討してまいりたいと存じます。

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名：絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
町内会に管理を委託している街灯のLED化の促進および交通事故の際の対策を強化されたい。	(市民部市民協働推進課) 街灯は町内会の所有のものであり、交通事故対応も含め町内会が直接管理を行っております。 LED化の促進につきましては、平成25年度はLED灯の設置に限り補助率を6割から7割に引き上げLED化の促進に取り組んでいるところです。 また、町内会の街灯が交通事故により損害を受けた場合は、一般的には事故を引き起こした原因者によって損害賠償が行われるべきものと考えますが、当て逃げ等のために原因者が全くわからず町内会がお困りになっているような場合は、現行補助制度の範囲内で相談を受けてまいりたいと考えております。 (市民部市民協働推進課)
- 自転車の安全走行に関する指導を強化されたい・ - 車道の左側走行と夜間ライト点灯の指導を強化するとともに、国土交通省や警察庁の指導に従い、自転車の原則車道走行及び道路交通法の遵守を徹底するよう働きかけたい。	自転車の安全利用に関しましては、小・中学校における交通安全教室では、対象学年に応じて安全な乗り方や通行方法などの指導を行っているところです。 また、朝夕の通勤通学時においては、交通指導員による歩行者や自転車利用者に対する街頭指導のほか、高校生や大学生を対象に学校、警察及び市が連携し、通行指導を行っております。毎月8の日（岩手県自転車安全指導の日）には、警察、交通安全協会及び市の連携による街頭での自転車利用者に対する安全利用の呼びかけやルール・マナー違反者への指導も行っているところです。 市といたしましては、警察及び関係団体等と一層連携を図りながら、自転車利用者には交通ルールの遵守や安全利用を引き続き呼びかけてまいりたいと存じます。 (市民部くらしの安全課)
社会的ひきこもりの調査を検討されたい。	ひきこもりに関する実態調査につきましては、ひきこもりの定義や程度による判別が難しいこと、また、家族が公にすることを避け潜在化している例も多いことから、実態調査は非常に困難であると存じます。また、ひきこもりの原因も様々でありますことから、原因別の支援先につきまして紹介を行っているところでございますので、御理解いただきたいと存じます。 (市民部男女共同参画青少年課)

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名：絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【保健福祉部関係】 P 2 乳幼児医療補助の現物支給の実施をされた い。	乳幼児医療費など医療費助成事業の現物給付につきましては、福祉医療の現物給付に伴い国民健康保険国庫負担金が減額されるという措置があり、国保財政に大きな影響を及ぼすことから、やむを得ず県内統一して償還払い方式としているところであります。 また、乳幼児医療費助成事業などは岩手県から補助を受けて実施している事業で、県医師会等関係団体や国保連と連携した県独自の償還払いシステムを構築しており、当市や国保連のシステム改修に多額の経費を要する等の課題がありますことから、当市が独自に現物給付を行うことは現時点で難しいものと考えております。 このことから、国に対し全国市長会を通じ、現物給付に伴う国庫負担金減額措置の撤廃を要望しているところであり、今後も継続して要望してまいります。 （市民部医療助成年金課）
【教育委員会関係】 P 6 - 玉山区の渋民運動公園陸上競技場の整備促進 - 市営野球場の早期着工計画に向けた対策を講じられたい。 - 市営野球場隣に85mの円形（フラット広場）多目的スポーツ広場の設置を要望	渋民運動公園の陸上競技場、野球場等の整備につきましては、新市建設計画に基づき、現在、地元や競技団体の代表者の方々と意見交換等を行っており、今後とも合意形成を図りながら、改修整備を進めてまいります。 （市民部スポーツ推進課） 新市営野球場の整備につきましては、盛岡南公園を適地として整備を検討しており、今年度内に整備方針を決定したいと考えております。 （市民部スポーツ推進課） 新市営野球場の整備を予定している盛岡南公園内の市営野球場に隣接した円形多目的スポーツ広場を設置することにつきましては、同公園内に既に多目的広場が設置されており、また、新たに野球場を整備する場合には、相当台数の駐車場のスペースを確保する必要があることから、同公園内に新たに円形多目的スポーツ広場を設置することは難しいものと考えておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。 （市民部スポーツ推進課）

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
・ 芸術・文化都市条例の制定を行い，それに付随した都市づくりを行われたい。	芸術・文化都市条例の制定を行い，それに付随した都市づくりを行うことにつきましては，平成24年1月1日時点で文化振興のための条例を策定しているのは中核市42市中8市（文化庁HPから抜粋）となっております。 また，国においては，文化芸術創造都市の推進を図り，文化芸術の持つ創造性を領域横断的に活用し，自治体や市民（文化ボランティア，アートNPOなど），企業などと協働によって地域の課題解決に向けた取組を支援しようとしております。 本市におきましても，先進地の事例の情報を収集するとともに関係各部署と情報を共有し文化芸術振興に向け，研究を行ってまいりたいと存じます。 （市民部文化国際室）

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名：絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【環境部】 P 2 東電に対し、風評を含めた被害対策を求められたい。また保障の早期実施。	市では、これまでに岩手県市長会を通じて県や県町村会と連携し、東京電力株式会社に対し、農畜産業をはじめ放射能の影響により被害を受けた事業者等に対する損害賠償について、風評被害を含めて誠意を持って速やかに実施するよう強く要望してまいりました。 また、国や政党団体に対しても、市長会等を通じて、損害賠償が迅速に行われるよう東京電力株式会社に対して指導すること等を要望してまいりました。 東京電力株式会社によりますと、民間事業者の観光風評被害及び食品加工・流通業等の風評被害に係る賠償状況につきましては、平成25年8月31日現在、岩手県全体で約35億4,600万円の請求があり、うち約15億8,798万円が賠償されたとのことですが、今後引き続き、あらゆる機会を通じて東京電力株式会社が損害賠償を速やかにかつ適切に実施するよう要望活動を行ってまいります。 （環境部環境企画課）
資源再利用を促進するためにストックヤード設置の補助の件数と補助率の増強を図られたい。	ストックヤードの整備は、資源再利用の促進のために非常に有効なことを考えております。ごみ集積場所等整備事業補助金は、設置に要する経費の2分の1に相当する額を補助しており、平成21年度から上限を7万円から10万円に引き上げております。補助件数は、町内会・自治会からの要望を基に予算化しており、平成21年度10件、22年度16件、23年度8件、24年度15件、平成25年度は12件となる見込みです。今後につきましても地域の要望に応えられるよう、予算確保に努めてまいります。 （環境部資源循環推進課）
地球温暖化防止のための実効ある施策を実施されたい。	盛岡市地球温暖化対策実行計画に掲げる温室効果ガス削減には、市民の理解と協力が必要でありますことから、環境パネル展や出前講座、環境啓発イベント、地域での懇談会などを引き続き開催するほか、平成25年4月に竣工、発電を開始しております「ソーラーガーデン姫神」等の再生可能エネルギー施設見学会及び26年4月開設予定の盛岡市環境学習広場における環境講座の開催等により啓発を図ってまいります。 また、公共施設への太陽光発電システム導入や照明のLED化など継続して導入を行ってまいりますほか、環境部ウェブサイト「ecoもりおか」を活用するなど、あらゆ

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
・ ゴミ戸別収集についての方向性を示されたい。 ・ 公共施設の屋根を太陽光発電所とする屋根貸しを行われたい。 ・ 県道にゴミ集積場の設置を行えるよう調整をされたい。	る機会を捉えて啓発を進めてまいります。 また、市民への普及事業といたしましては、家庭用太陽光発電システム設置補助を引き続き実施するとともに、再生可能エネルギーの普及・促進にむけて今後も、市民やNPOなどとの連携や他都市の先進事例の研究を行うなど、実効ある支援策を検討してまいります。 （環境部環境企画課） ゴミ戸別収集の方向性につきまして、市では、平成18年度から粗大ごみの収集は戸別収集で実施しておりますが、ごみの分別やステーション方式によるごみ収集において大きな問題が生じていないことから、粗大ごみ以外の収集について、当面は、現状のままの体制を継続することとしております。 なお、ごみを集積場所まで自ら排出できない高齢者や障がい者の世帯で、親族・近親者や地域等の協力を得ることや福祉サービスの利用が困難な場合に限り、戸別収集の導入を図ることとして、北厨川地区においてモデル事業を実施しております。 （環境部廃棄物対策課・資源循環推進課） 公共施設の屋根を発電業者等に貸付け、太陽光発電所を設置することについては、現在、中央卸売市場の上屋等を利用した事業化について検討し、平成26年4月発電開始を目途に現在事業を実施しております。 その他の公共施設については、その用途、目的を妨げない場合、行政財産を目的外に使用することについて許可をすることは可能であると考えており、太陽光パネルの設置による市民への啓発効果はもとより、貸付けによる使用料収入など、資産活用の観点からも有益であることから、実施に向け検討してまいります。 （環境部環境企画課） ごみ集積場所の設置につきましては、設置する町内会等で候補地を確保していただいた上で設置の届出を市の担当課に出していただくことになります。県道への設置に当たっては、道路占用の許可が必要になりますが、現状としては道路法に定められた以外の構造物を設置することは認められていない状況であります。 今後は、隣接する市道や市有地等で設置可能な場所がある場合は情報提供するなどに

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名：絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
	より町内会等を支援してまいります。 (環境部資源循環推進課)

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名：絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【保健福祉部関係】 P 2 福祉総合相談窓口への移行を検討されたい。	「福祉総合相談窓口」への移行についてではありますが、現在は、複合的な相談に対応するため、各部の窓口での連携を図るとともに、情報の共有や、必要に応じて、相談を受けた担当者が、他部局の窓口に同行するなど、取組んでおります。 一例ではありますが、現在、生活困窮者の相談体制については、生活福祉課とハローワークが連携して相談できる体制をとっているところでありまして、本庁舎の5階で課の番号表示を行い、市民が分かりやすい窓口を目指しております。また、年度末、年度当初には、5階のエレベーターホールに窓口案内職員を配置しております。 いずれにいたしましても、複合的な相談に的確に対応するためのあり方を検討する中で課題のひとつと捉えており、市民が相談しやすい環境づくりに、取組んでまいりたいと存じます。 （保健福祉部地域福祉課）
保育所待機をゼロにする措置を取られたい。	待機児童の解消については、これまで、施設の新設、増改築を含めた保育所定員の増や、認定こども園の幼保連携型への移行、入所円滑化による定員の弾力化や定員のフラット化により、取り組んでまいりました。 特にも、平成15年度から25年度までの11年間で、16箇所の保育所を新規に開設し、増改築等による定員増と併せて1,510名の定員増を図ってきたところです。 また、平成25年度中に4箇所の保育所の増改築等を実施し、平成26年度当初においては60名の定員増を実施する予定としております。 今後においては、これらの取組みに加えて、国が実施する「待機児童解消加速化プラン」にも参加し、待機児童の解消に向けて、取り組んでまいります。 （保健福祉部児童福祉課）
生活保護の適正な執行をされたい。不正受給対策を強化されたい	生活保護の実施については、福祉事務所としての組織的な対応と、保護の受給要件の確かな把握や世帯の生活実態の把握を徹底しているほか、関係機関との連携強化や研修等を通じた査察指導機能及びケースワーク技術の向上により、適正な実施に努めているところでありまして。 また、国や県による生活保護法施行事務監査が毎年度実施されており、監査での指導

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
・ 中学校を卒業後における重度障がい者の進学先の確保に努力されたい。 ・ 市独自の自立支援協議会を作っていただきたい。 ・ 介護施設の増設、定員増を前倒しで進められたい。空き施設などのあっせんなど他の部署との連携を取られたい。	等に対する事務改善により、適正かつ円滑に生活保護事務を執行しているところであり ます。 不正受給対策としては、保護開始時に「保護のしおり」を交付し、権利・義務の説明 を十分に行っており、継続ケースに対しては、毎年度、課税状況調査を行っているほか、 年に2回、権利・義務や不正受給防止に関するリーフレットを全保護世帯に送付し、不 正受給防止について周知徹底を図っております。 今後とも、法令や実施要領等に基づき、適正な保護を実施してまいります。 (保健福祉部生活福祉課) 重度障がいのある中学生については、岩手県立特別支援学校中等部に在籍しており、 全員が特別支援学校高等部に進学し、進学先を確保されております。 (保健福祉部障がい福祉課) 盛岡市自立支援協議会については、平成25年5月に設置し、盛岡市における障がい者 等への支援体制に関する課題の解決を図るため、協議を進めております。 (保健福祉部障がい福祉課) 平成24年度から26年度を計画期間とする第5期介護保険事業計画において、入所待機 者の状況や、施設整備による介護給付費への影響を勘案しながら、保険料とのバランス に配慮して、特別養護老人ホーム180床、認知症高齢者グループホーム81床などを整備 することとし、平成26年度は特別養護老人ホーム90床を整備する予定であります。 増設や定員増を前倒しで進めることについては、第5期計画で見込んでいる介護給付 費に影響するものであり、その財源の一つである保険料に不足が生じることと見込まれ ることから、難しいものと考えているところであり、ご理解をいただきたいと存じます。 また、平成27年度以降の施設整備につきましては、平成26年度に実施する第6期介護 保険事業計画の策定の中で検討することとしており、入所待機者の推移を注視しながら、 整備量を決定することとしております。 空き施設などのあっせんについては、通所介護等の開設にあたり問い合わせのある事 業者に対しては、盛岡まちづくり株式会社との連携を図りながら、把握している中心市 街地の空き店舗の情報を紹介してまいります。

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名：絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
- 福祉事業者に対し、市有地の積極的な貸出を行っていただきたい。 - 精神障がい者が地域で暮らせるよう仕組みづくりを講じられたい。	（保健福祉部介護高齢福祉課・商工観光部商工課） 市有地の積極的な貸出につきましては、福祉事業の内容やその状況をお聞きしながら、可能なものについて、市有地の貸付を行うこととしており、今後とも情報の提供に努めてまいります。 （保健福祉部地域福祉課） 統合失調症患者を持つ家族が、病気への理解を深め、家族の役割を学ぶ機会として「家族のための精神保健講座」を開催しております。このような家族支援は、行政の他に各精神科病院においても実施しており、患者の治療と同等に重要な役割を担っております。 また、精神障がい者の早期治療の促進や住民の精神保健の向上を図るための事業として「こころの相談」や「こころの健康づくり講座」等も実施しており、いずれも継続して実施してまいります。 障がい福祉サービスの面では、「障害者総合支援法」において、身体障がい、知的障がい、精神障がいの3障がいに係る制度は一元化されておりますので、今後も引き続き必要なサービスが受けられるよう対応してまいりたいと存じます。 なお、市の単独事業である「福祉タクシー助成事業」において、平成20年度から「精神障害者保健福祉手帳」1級の方を対象といたしましたほか、精神障がい者が事業所に公共交通機関を利用して通う場合の交通費の一部助成を行っております。 （保健所保健予防課・保健福祉部障がい福祉課）
P 3 障がい者、生活困窮者を含む就労困難者の就労支援に力を入れていただきたい。職安へ行くように促すだけでなく、就労準備や中間就労など就労への意欲を促す仕組みを市が率先して準備することに、予算措置を含め積極的に取り組まれたい。	障がい者の就労については、障害福祉サービスの中で、一般就労等への移行に向けて、事業所内での作業や企業における施設外就労などの実習訓練を行い、適性に応じた職場を探し、就労後の職場定着のための支援を行うなどの支援を行っております。 生活困窮者の就労支援については、本年4月から、従来岩手県が実施してきた求職者個別支援モデル事業を引き継ぎ、「求職者個別支援事業（パーソナル・サポート事業）」を実施しております。業務はNPO法人へ委託しており、職業等の様々な問題を抱える「障がい者」を含めた生活困窮者を対象に、関係機関や民間事業者と連携して、就労準備支援や中間的就労支援等を行い、就労困難者の就労意欲の向上を図っております。

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名：絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
・ 難病患者に対する各種支援を講じられたい	なお、「求職者個別支援事業（パーソナル・サポート事業）」は、緊急雇用創出事業（県基金）の活用により、平成26年度まで継続実施することとしており、平成27年度からは、生活困窮者支援制度の法定化により、法定事業に移行する予定としております。 （保健福祉部障がい福祉課・生活福祉課） 患者及び家族が、病気を正しく理解し、療養上の不安を解消し、安心して療養生活を送ることができるよう、「医療講演・医療相談会」を開催し、専門医による講演や個別相談、当事者同士の情報交換の場を設置しております。保健師による療養相談については、随時実施しており、医療との連携が欠かせないことから、難病医療専門員（県が岩手医大へ委託）等と連絡をとりながら支援を行っております。 また、「障害者総合支援法」により、2013年4月から、新たに難病の人が障がい福祉サービスなどを利用できるようになり、必要と認められた障害福祉サービス（介護給付・訓練等給付）、補装具（車いすや歩行器などの購入・修理に必要な費用の支給）、日常生活用具給付などのサービスが利用できます。なお、このことに関し、市医師会、市内医療機関等に対し周知及びポスターの掲載依頼を行うほか、市ホームページ等により周知に努めているところです。 難病患者への就労支援につきましては、経済団体等との打合せの機会などで、難病患者への理解を図るとともに、難病患者であることが分かった場合には、ハローワーク難病患者就職サポータにつなげてまいります。 （保健所保健予防課・保健福祉部障がい福祉課・商工観光部企業立地雇用課）
・ 新庄墓園などの適正な管理を行われたい。	新庄墓園及び青山墓園は、平成18年度以降、指定管理者による管理を行ってまいりましたが、指定管理者が新庄墓園・青山墓園の管理運営に関する基本協定に違反したこと及び度重なる市の事情聴取に対し虚偽の報告をしてきたことにより、平成25年11月30日付けで指定の取消処分を行ったところです。 来年度につきましては、指定管理者の応募がなかったことから、直営で管理することになりますが、利用者の皆様にご不便をおかけしないように適切な管理運営を行ってまいります。 （保健所企画総務課）

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【市立病院】 P 5 ・ 単年度収支均衡を図られたい。単年度黒字が何年度に達成可能か示されたい。 ・ 累積債務40億円台に到達しているが、この圧縮のために早期に対策を講じていただきたい。	盛岡市立病院第2次経営改善計画の2年目であった平成24年度は、医師の欠員や病気休暇による影響もあり、一般病床の病床利用率が目標の85%を下回る77.6%に止まったことにより医業収益も減少しました。一方、時間外勤務手当の削減など経費圧縮により、純損失を約 7,100万円に止めました。さらに、平成25年度には医師3名を増員するなど、医師の確保については成果が出ております。 しかしながら、平成26年度に会計制度が変更され、退職給付引当金の義務付けなどにより初年度は多額の赤字が見込まれていますことから、単年度黒字は平成27年度以降と見込まれます。 第2次経営改善計画の最終年度である平成26年度におきましては、引き続き医師確保に努めるほか、診療報酬改定への早期対応による収益確保とともに、経費の削減にも取り組み、累積債務の縮小に取り組んでまいります。 （市立病院総務課）
・ 常勤医師の確保につとめられたい	平成24年度に呼吸器内科医の欠員が生じましたが、平成25年度に確保したほか、糖尿病・代謝内科、消化器内科及び眼科で各1名の医師増を確保しております。今後も市の協力を得て、常勤医師の確保に努めてまいります。 （市立病院総務課）
・ 休診している診療科の再開をして頂きたい。	現在休診している小児科及び産婦人科につきましては、岩手医科大学の医局におきましても医師が十分に確保されておらず、医師派遣は極めて困難な現状となっておりますことから、ご理解をお願いいたします。 （市立病院総務課）

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名：絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【市長公室関係】 P 1 国際会議場の設置及び国際会議の誘致を行い、世界に通じる街にされたい。	国際会議場の設置につきましては、国際会議の誘致に大きなアドバンテージとなり、I L Cの建設や関連施設の整備、研究者の集積など将来的な需要を考えますと、非常に興味深い内容と存じますが、その必要性につきましては、専用施設の需要見通し、施設の設置・運営主体、維持管理の問題なども含め、総合的な判断が必要と考えており、調査研究してまいりたいと存じます。 また、国際会議の誘致についてであります。本市は会議・宿泊施設などのハード面やコンベンションビューローなどソフト面の体制が整備されており、国際会議の開催環境は整っているものと存じておりますことから、今後におきましても、盛岡観光コンベンション協会や関係団体などと連携し、訪日外国人旅行客の受入態勢の整備を図りながら、国際会議の誘致促進に努め、「世界に開かれたまち 盛岡」の実現に取り組んでまいりたいと存じます。 （商工観光部観光課）
【保健福祉部関係】 P 3 障がい者雇用を促進するための対策を講じること。	盛岡公共職業安定所や関係機関と連携し、雇用の促進を図るとともに、岩手労働局等が主催する「障がい者雇用関係情報交換会並びに障がい者就職相談会」に参加し、障がい者の雇用促進に努めております。 （商工観光部企業立地雇用課）
【商工観光部関係】 P 3 空き店舗対策の拡大と家守などの仲介事業を市の事業として行えるよう、調査研究を進めてほしい。空き地を横丁として整備する等テーマ性をもった活用もされたい。	現在、空き店舗対策として、中心市街地エリアで空き店舗を活用し、新たに開業する方に改装費の一部助成を行っているところですが、当該事業は中心市街地における空き店舗の連鎖を食い止めることを主眼としており、現段階ではその適用範囲の拡大は考えておりませんので、御理解願います。 なお、空き店舗対策は、各個店への支援もさることながら、商店街としての魅力向上も重要な要素の一つであることから、市内全域の商店街等を対象としたコンサルタント

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名：絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
新規の企業誘致を図られたい。市関係者からの紹介を増やすように企業周りを強化されたい。	や講師の派遣を行っているほか、盛岡市商店街連合会を経由したイベント支援、街路灯電気料支援、情報発信などを行い、市全域の商店街の魅力向上を図っているところでございます。 次に、家守事業などの仲介事業についてですが、民間活力による事業運営が望ましいと考えており、盛岡まちづくり会社と連携し、空き店舗情報の提供を行いながら、活用につながるよう努めてまいります。 次に、テーマをもった空き地の活用についてですが、未利用地の開発予定情報の収集に努めるとともに、整備が行われる場合は、土地所有者や商店街等の関係者との意見交換を通じて、対応してまいりたいと考えております。 （商工観光部商工課）
中小企業振興条例の制定を行い、中小企業振興を実効あるものにされたい。	新規の企業誘致につきましては、地域産業の振興を図るとともに、就労の場の確保にも貢献することから、県などとの連携により誘致活動を行っていますが、平成24年度は4社に立地をいただき、さらに新規立地に向け複数企業と交渉を継続しております。 また、平成25年度も首都圏に企業誘致推進員を配置し、立地意向の積極的な情報収集と企業訪問を行っているほか、大学や試験研究機関が集積されていることを生かし、産・学・官の連携により、研究開発型企業を誘致し、高付加価値型産業の立地に努めております。 更に、企業訪問に係る予算を増額し、企業訪問を行っているところです。平成26年度につきましても、更なる予算増など企業訪問を強化するなどして新規企業の誘致に向け努力して参ります。 （商工観光部企業立地雇用課） 中小企業振興条例の制定につきましては、市はこれまで岩手県中小企業家同友会をはじめ、盛岡商工会議所等と意見交換を行ってまいりましたほか、県中小企業家同友会と盛岡商工会議所の共催による勉強会にも参加してきたところであり、その中では、勉強の継続が必要であることや、地域と自らの事業所を見つめ直し、自社の課題を発見し、他団体との連携や条例制定の意義などを学習したうえでの制定でなければ、単なる条例の制定に終わってしまうなどの課題が出されております。 市といたしましては、地場の中小企業の振興は重要であると認識しておりますことか

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名：絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
- 中心市街地のみではなく、バランスの良い街づくりのための対策を講じられたい。 - 玉山区を含む北東部地域の振興の為、工業団地の整備を促進されたい。 - 観光における二次交通（バス、タクシー、レンタル自転車）利用促進策を講じられたい。 - 一日観光切符など鉄道・バス・観光施設一体となった切符を発行して頂きたい。	ら、条例制定につきましては、盛岡商工会議所や関係機関との意見交換等を継続しながら、さらなる議論を深めてまいりたいと存じます。 （商工観光部商工課） 〔都市整備部都市計画課〕 玉山区を含む北東部地域の振興は、当市のバランスのとれた発展を図る上からも重要であると認識しており、玉山区内における工業団地建設を促進するため、団地候補地の基礎調査や当該候補地の基礎資料を作成してきたところです。現在、立地企業の掘り起こしに取り組んでいるところであり、企業誘致は他地域や海外と厳しい競争が続いておりますが、今後とも引き続き情報提供に努め、工業団地建設の具体化に向けて努力してまいります。 （商工観光部企業立地雇用課） J R 東日本や旅行会社の企画商品として、観光の目的地などでバスやタクシーを低料金で利用できるプランがありますが、今後も観光客のニーズに対応した商品開発を旅行会社などに働きかけるとともに、新規路線の可能性を含めた検討などをバス・タクシー事業者をお願いしてまいります。 また、市内には、盛岡観光コンベンション協会をはじめ複数のレンタサイクルの貸出拠点がありますが、「歩いて楽しむまち」や「まちなか観光」の推進に向けて、これらのPRに努めてまいります。 （商工観光部観光課） 市内の一日観光を楽しめる旅行商品としては、J R 東日本やバス事業者、旅行会社などの企画商品のほか、市内の観光スポットや施設などを回る定期観光バスが運行されております。また、市内の観光スポットなどをエリア別・テーマ別に紹介しており、これらの観光スポットを回る交通手段として、盛岡都心循環バス（でんでんむし）や「盛南ループ・200」などが運行されており、都心循環バスは1日に何度でも利用できる一日フリー乗車券も販売されております。今後におきましても、市内観光を手軽に楽しめる

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
- 旧外山御料牧場を示す看板設置や資料の展示をしていただきたい。 - 石川啄木記念館の活性化および函館市・文京区との連携や友好関係の締結を促進されたい。 - つなぎ温泉の活性化や観光業の活性化を図られたい。 - 舟っこ流し行事において常設展示や説明看板の設置、記述本の発行をされたい。	商品の開発をバス・タクシー事業者や旅行会社にお願いしてまいります。 (商工観光部観光課) 〔玉山総合事務所産業振興課〕 〔市長公室企画調整課及び教育委員会事務局歴史文化課〕 つなぎ温泉の活性化に向けて、つなぎ温泉観光協会の活性化事業への支援を行っており、同協会では、広告宣伝やホテル鑑賞会の開催、小岩井農場や鶯宿温泉との共同企画事業などを実施しております。また、平成25年8月に発生した大雨被害では、同温泉の宿泊施設等が甚大な被害を受けたことから、県と連携し、被害を受けた施設設備等の復旧支援事業や災害復興事業を実施することとしたところであります。今後も同温泉の活性化と集客増加、観光地としての魅力の向上に向けて支援してまいります。 (商工観光部観光課) 盛岡舟っこ流しは、藩政時代から続く伝統行事であり、盛岡の夏の風物詩として知名度も高く、本市の重要な観光資源の一つと考えております。常設展示などにつきましては、場所や費用の問題など多くの課題がありますが、盛岡舟っこ流しを含む盛岡の地域文化や伝統行事などの魅力を広く発信しながら、地域資源を活用した観光振興の推進に努めてまいります。 (商工観光部観光課)

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【総務部関係】 P 1 ・ 庄ヶ畑防災センターの駐車場の舗装工事を要望	庄ヶ畑地区振興センターの駐車場につきましては、平成23年度に敷き砂利を支給したところでございます。今後、降雨等により場内に水が溜まるなどして利用者に不便をきたす場合におきましては、敷き砂利を支給してまいりたいと存じます。 （農林部農政課）
【農林部関係】 P 3 ・ 盛岡市産材の活用をさらに促進されたい。	盛岡市産材の活用につきましては、「盛岡市木材利用推進方針」に基づき市営建設工事の公共事業等への市産材利用に努めることとしておりますが、さらなる活用について、関係各課に要請を行うとともに、供給体制の強化にも努めてまいりたいと存じます。 また、平成24年度から実施しております「市産材住宅支援事業」による住宅建築補助や町内会の簡易な木構造物への市産材支給事業を継続することとしており、引き続き市産材の活用の促進とPRに努めてまいりたいと存じます。 （農林部林政課）
・ 新規就農者の確保をされたい。	農業においては、認定農業者が地域の担い手として活躍しております。新たな担い手の確保・育成が重要課題でありますことから、農業支援マネージャーを配置し、関係機関・団体と連携しながら新規認定農業者の掘り起こしや既認定農業者・再認定申請者への支援活動を行っているところでございます。今後も「地域農業マスタープラン」策定に関連した新規就農者の掘り起こしと育成支援に努めてまいりたいと存じます。 （農林部農政課）
・ 日戸地区に生活改善センターの整備をされたい。	日戸地区には、昭和46年度に玉山生活改善センターが設置され、玉山地区公民館や市役所玉山出張所との併用施設として幅広く利用されてきたところですが、平成22年度に玉山地区公民館が新たに建設整備されたことに伴い、それらの機能は新公民館に移行し、地元住民の活動の拠点として活発に活用されるようになり、利用の中心が玉山地区公民館に移り、一方で生活改善センターの利用頻度は大幅に減少しているところですが、 以上のような利用状況から、新たな生活改善センターの整備は計画していないところ

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
- 市の民有林の整備に市独自の公費助成を実施していただきたい。 - 民有地や住宅地と隣接する山林の伐採や手入れの指導を願いたい。森林管理条例の制定を検討されたい。 - 六次産業化の強化をされたい。また、甘草など高付加価値品の栽培を検討されたい	でございます。 なお、当面は、利用者の便宜を考慮し、施設が利用可能な状態を維持できるよう管理を継続することとしているところでございます。 （玉山総合事務所産業振興課） 民有林の整備につきましては、国・県の補助制度「森林整備事業」（一般的な補助率68％）とは別に、市が事業費の9％以内の追加補助（森林適正管理推進事業）を実施するとともに、間伐材の搬出や作業道の開設に対しても一部補助を行っており、今後も、継続してまいりたいと存じます。 （搬出間伐： 1,000円/㎡，作業道：補助率45％） （農林部林政課） 民有地や住宅地と隣接する山林は、自然環境の保全や二酸化炭素削減、森林の土砂流出防止等の機能を有していますが、一方で倒木の危険性や落ち葉等の問題が発生している箇所も見受けられます。一般的に山林のそばに後から住宅地が開発され発生している問題であり、本来は山林所有者と住民が話し合いをしながら解決すべき問題と考えておりますが、所有者の特定が困難な状態で、かつ、被害が大きいと判断される場合は、市が調査し、所有者にその状況を伝えてまいりたいと存じます。山林の所有者による適正な維持管理につきましては、引き続き市のホームページ等でも周知してまいりたいと存じます。 また、森林管理に関する条例につきましては、条例の持つ有効性など、他都市の制定事例等を研究してまいりたいと存じます。 （農林部林政課） 農業生産者が自ら商品の付加価値を高め自ら販売し、中間利益を確保するため、6次産業化に向けた積極的行動が求められている状況です。6次産業化を推進する母体としては、小売店としての実績を有する市内農産物直売所が最適と考えておりますことから、これらの活動を支援して参りたいと存じます。 また、高付加価値な農産物の栽培に関しましては、国や県の試験機関が中心となって研究を行なっているところでございますが、本市といたしましては、農協や農業改良普

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名：絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
- 農業と福祉分野の連携を促進されたい。 - 福祉や教育，コミュニティー形成のための事業に利用する場合，遊休地，耕作放棄地を斡旋する仕組みを検討されたい。	及センターと連携しながら，地域特性を生かした新品種開発，品種改良が促進されるよう，また，これらに要する経費の確保等につきましても関係機関等に働きかけてまいりたいと存じます。 （農林部農政課） 農業と福祉分野の連携の促進につきましては，障がい者の自立支援，雇用の場の創出などを目的に，農業への参入を考えている自立支援施設などに，耕作放棄地等の情報提供や再生への助成制度の活用を促すとともに，農業委員会による土地所有者との利用調整などを支援することにより，耕作放棄地の解消にも繋がることから，今後とも農業と福祉分野の連携を図ってまいりたいと存じます （農林部農政課） 国におきまして，農地中間管理機構の設立が現在検討されており，平成26年度から業務を開始する予定となっております。 この農地中間管理機構では，耕作放棄地や貸す意向のある農地の情報を市町村から集め，借りたい人を公告により募集し，貸し借りのあっせんを行う機関となると伺っております。 福祉や教育，コミュニティー形成のための事業に利用したい方が市内にいる場合には，その情報を機構に提供するなど，機構と連携して耕作放棄地等のあっせんができるように努めてまいりたいと存じます。 （農林部農政課）

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【中央卸売市場関係】 P 5 - 卸，仲卸の経営実態を的確に把握されたい。 - 市場活性化ビジョンを着実に実行されたい。 - 空き施設の活用と家賃収入を確保されたい。 - 他市場の改革成功例を取り入れ市場の活性化に取り組んでいただきたい。	卸，仲卸の経営実態の把握につきましては，業者への財務検査，業者から毎月提出される売上・取扱高・残高試算表などの月例報告書や決算に係る年次報告などにより，公認会計士に一部業務委託を行いながら経営実態の把握と指導を行っております。今後におきましても，適正かつ健全な運営を確保するため，卸・仲卸業者の経営実態の適正な把握に努めてまいります。 （中央卸売市場業務課） 「市場活性化ビジョン」の実行につきましては，各事業所に統括推進リーダーを設置し，30の取組項目ごとに推進事務局を割り当て，開設者と場内業者とが一体となり，集荷力の強化や商品開発・販路拡大などのほか，市場会計収支の見直しや未利用施設の活用など，市場運営経費の縮減及び財源確保に取り組んでいるところでございます。今後におきましても，取組結果の検証等を行いながら，業者の経営向上と市場経営の健全化に努めてまいります。 （中央卸売市場業務課） これまで関係団体の協力を得てPRを行い，未利用施設の小区画化などによる有効活用に努めてきた結果，本年は，3社が入場したところです。今年度，水産物部卸売業者1社の廃業により，空き施設が増加しましたことから，施設の目的外使用も視野に入れながら引き続き有効利用に努めてまいります。 （中央卸売市場業務課） 市場の活性化につきましては，平成24年度に策定した「市場活性化ビジョン2012」に基づき，他市場の成功事例も取り入れながら，開設者・場内関係者一丸となって取り組んでまいります。 （中央卸売市場業務課）

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【建設部関係】 P 3 市営住宅における家賃の適正な納入を促進されたい。	市営住宅の安定した運営と入居者の負担の公平性を確保するため、滞納者に対して電話催告や夜間や休日にも訪問催告をおこなっており、必要に応じて民事調停等や退去者滞納家賃収納業務も実施しております。今後とも家賃の適正な納入の促進に努めてまいります。 （建設部建築住宅課）
P 4 市道津志田白沢線の矢巾町境からの道路建設を促進されたい。	津志田白沢線につきましては、都南文化会館西から市道高櫓線までの区間について平成22年度から事業に着手しておりますが、今年度は、南に約 160m延伸し全体計画区間約 300mとして事業を実施しております。盛岡市都市計画道路整備プログラムでは、当面は、都市計画道路西見前赤林線交差部までを優先して整備を行い、地区の交通ネットワークを形成することとしております。 西見前赤林線以南から矢巾町境につきましては、北側からの整備状況や市全体での優先順位等を踏まえ、都市計画道路整備プログラム見直しの中で検討することとしております。 （建設部道路建設課）
中心市街地における使い易い駐輪場の増設を図られたい。	市では、平成20年4月1日施行の「盛岡市自転車の安全利用及び利用促進並びに自転車等の放置防止に関する条例」を受け、平成20年度に大通地区にパーキングチケット等を活用した駐輪場を3箇所設置したところです。 今後も、商店街や事業所の協力をいただきながら、放置禁止区域の拡大も視野に入れ、駐輪場の整備に取り組んで参りたいと存じます。 （建設部交通政策課）
高齢者にやさしい除雪体制を実施されたい。雪の塊を自宅前に残さないよう配慮願う。	高齢者にやさしい除雪体制の構築につきましては、これまでも歩行者の安全確保のため、歩道のないバス路線の排雪強化などに取り組んでまいりましたが、平成25年度においても、盛岡視覚支援学校周辺を重点モデル地区として、学校や地域の協力をいただきながら除排雪や凍結防止剤散布の徹底を図ることとしており、引き続き市民との連携を

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名：絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
- 有料で行う除雪体制の構築や業者登録制度を採用されたい。 - 各駅に駐車場を設置されたい。 - 田沢湖線前潟駅，I G R 下田駅の早期着工を図られたい。 - 仮称南仙北駅の総合計画への格上げを図ら	図りながら安心とやさしさに配慮した冬期対策の推進に努めてまいりたいと存じます。 なお，除雪後の間口に寄った雪の片付けにつきましては，市全域で同様な状況でありますことから，各戸での対応や地域などでの対応をお願いしておりますので，ご理解を賜りたいと存じます。 （建設部道路管理課） ご要望の有料除雪や業者登録制度につきましては，市が主体的に業者を斡旋・紹介することになり，特定の業者に便宜を図ることになる等の課題があると認識しており，今後も，他都市の状況を調査研究するとともに，市内の建設業者団体等にも相談してまいりたいと存じます。 （建設部道路管理課） 現在，駅に鉄道利用者が活用できる駐車場が近接して設置されていない盛岡市内の駅は，東北本線の仙北町駅，山田線の盛岡～上米内駅間の上盛岡駅と山岸駅となっております。他のJ R 東日本やI G R いわて銀河鉄道の各駅には，月極駐車場等が設置されており，設置されていない駅では，用地がないことから，設置は困難であり，ご理解いただきたいと存じます。 （建設部交通政策課） 田沢湖線前潟駅につきましては，平成24年度にJ R 東日本に基本計画調査を委託し，新駅設置の適地との調査結果を得ておりますが，開業設備費を含めた総事業費が多額となり，事業費の確保が課題となっております。引続き，J R 東日本と協議してまいりたいと存じます。 また，I G R 下田駅につきましては，平成24年度に新駅を設置した場合の需要の検討を行ったところ，1日当たり乗降客数は約5百人，うち新規利用は約3百人となり，利用者の確保が課題となっております。今後も，引続き，周辺地域の土地利用の状況を見極めながら，検討して参りたいと存じます。 （建設部交通政策課） 岩手飯岡駅と仙北町駅間の新駅の設置につきましては，公共交通機関へ転換しやすい

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名：絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
れたい。 ・ 山田線の社会実験を成功されたい。また、宮古までの増発や観光活用についても盛岡市が主導で実施されたい。 ・ 東北本線の活性化（ＩＧＲと相互乗り入れ）や 701系電車に転換クロスシートの設置，増結を要請されたい。 ・ ＩＧＲの車両更新にはロングシート電車の導入ではなく，転換クロスシートの導入を促されたい。 ・ 仙北町駅橋上化の早期実現	環境づくりのための取組として市総合交通計画に新駅設置の可能性の検討を位置付けておりますが，もりおか交通戦略では長期的な課題としており，今後，周辺の市街化の状況等を踏まえながら検討して参りたいと存じます。 （建設部交通政策課） 山田線の社会実験の成功には，沿線の皆様のご協力が必要と考えております。このため，市では，今後もＰＲに努めるとともに，今年度，利用促進を図るため桜台地区を対象に，個人の交通行動の自発的転換を働きかける「モビリティマネジメント」を実施しており，次年度以降も，引続き，利用促進策に取り組むこととしております。 また，宮古までの増発や観光活用につきましては，庁内関係機関と連携を図りながら，ＪＲ東日本に要望して参りたいと存じます。 （建設部交通政策課） 相互乗り入れにつきましては，事業者間の費用負担の課題があると伺っております。 また，転換クロスシートにつきましては，ＪＲ東日本からは，701系電車は，朝夕の通勤通学の混雑時にできるだけ多くの方に乗車いただき，スムーズな乗降ができるようにロングシートとしており，保有車両を最大限活用している現状では，混雑時と日中を区別して運用することが困難なため，転換クロスシート化，増結は難しい旨伺っております。 （建設部交通政策課） ＩＧＲの車両更新時における転換クロスシートの導入につきましては，今後の「ＩＧＲいわて銀河鉄道利用促進協議会」等において，ＩＧＲに要望して参りたいと存じます。 （建設部交通政策課） 仙北町駅の橋上化につきましては，整備に多額の費用やＪＲ東日本との費用負担等の課題もあり，引続きＪＲ東日本と相談して参りたいと存じます。 なお，仙北町駅東西自由通路へのエレベーター設置につきましては，年度内の完成を目指して，取り組んでおります。 （建設部交通政策課・道路建設課）

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
中ノ橋，与の字橋を上ノ橋同様にぎぼしと木製の手すりにされたい。	「与の字橋」の高欄につきましては，盛岡市環境デザイン委員会の審査を経て，平成17年度に国庫補助事業により現在の高欄に改修済となっており，当面の改修は困難ですのでご理解願います。 また，改修に際しましては，現行の技術基準を満たす必要がありますことから，すべてを木製とすることは困難ですので併せてご理解賜りたいと存じます。 なお，「中の橋」への要望につきましては，道路管理者である岩手県担当部局へご要望の主旨についてお伝えしてまいります。 （建設部道路管理課）
自転車レーンの連続した整備並びに交差点，路側帯の整備を促進されたい	自転車走行空間につきましては，東大通や盛南地区に整備を行ってきたところであり，平成23年度から，上田地区において，走行空間を整備中であり，今年度は，大通の整備を予定しております。 今後とも，国・県と連携しながら自転車走行空間の整備を促進してまいりたいと存じます。 （建設部交通政策課・道路建設課）
バス停におけるバスベいの設置や増設を実施されたい。（南大通など）。またすべてのバス停にベンチを設置されたい。	バス停におけるバスベいの設置や増設につきましては，交差点やカーブ等からの距離，交通量の多い路線におけるバスベいの設置等，安全性確保の視点での公安委員会との協議や沿線土地所有者のご理解，ご協力が必要となります。また，例えば空地を活用したバスベいの設置におきましても，バス停部分のほか，バスが円滑に停止・加速ができるような距離が必要となり，当該地だけではなく，隣接地にも影響することから，バスベいの設置は難しい状況でありますので，ご理解いただきたいと存じます。 また，ベンチにつきましては，設置空間の確保の課題もありますことから，バス停上屋と合せての設置や，地元の協力も頂きながら，今後とも取組んで参りたいと存じます。 （建設部交通政策課）
L C Cの花巻空港への定期就航を促進されたい。	L C Cの花巻空港への就航につきましては，「岩手県空港利用促進協議会」等を通じて要望して参りたいと存じます。 （建設部交通政策課）

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名：絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【都市整備部関係】 P 4 ・ 国道4号三本柳交差点の立体交差を設置されたい。	国道4号三本柳交差点につきましては、平成25年度に岩手県渋滞対策推進協議会により特定された、岩手県内の「主要渋滞箇所」となっており、今後、同協議会において、渋滞対策の検討に取り組むこととなっております。ご要望の立体交差につきましては、協議会の場等において、国・県等の関係機関と相談してまいりたいと存じます。 （建設部交通政策課）
【上下水道局関係】 P 5 ・ 災害に対する対策を強化されたい。国土交通省や県と連携した洪水対策の強化や堤防の整備を促進されたい。	急傾斜地崩壊等を含む土砂災害対策につきましては、従来の土砂災害防止工事等によるハード対策と併せ、危険性のある区域を明らかにし、警戒区域等の指定を行い、警戒避難体制の整備や危険性のある区域への住宅等の立地抑制など、土砂災害防止法によるソフト対策の充実を図ることとされています。 市といたしましても、県と協力しながら土砂災害警戒区域等の指定に向けた取り組みを行うとともに、土砂災害に関する情報の伝達方法、避難地に関する事項等の周知を図るため、区域指定された箇所ごとの土砂災害ハザードマップの作成及び配布を行っており、引き続き、市民の安心・安全な暮らしを確保するよう努めて参ります。 また、洪水対策の強化や堤防の整備につきましては、国におきましては「北上川水系河川整備計画」に基づく河川整備事業や、四十四田ダムと御所ダムの連携した操作、さらには「北上川上流樹木管理計画」等により河川の適正な維持管理を行っていると同っております。 なお、岩手県におきましても、盛岡西圏域、盛岡東圏域の河川整備計画に基づき木賊川や南川などの河川改修等の事業を実施しており、北上川（知事管理区間）及び松川については、被災箇所の早期復旧に努めるとともに、洪水対策について検討していくと同っております。 市といたしましても、国や県と連携しながら、定期的なパトロールによる状況把握や市民からのご要望を踏まえながら、市民の安全・安心な暮らしを確保するため、河川の

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名：絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
- 松川の安全対策を講じられたい。 - 北上川河川敷の管理を徹底されたい。	洪水対策に取り組んでまいりたいと存じます。 (建設部河川課) 松川の安全対策につきましては、平成25年9月に発生いたしました台風により甚大な被害を受けましたことから、当面は大型土のう等による応急復旧としておりますが、12月の国の災害査定を受け早期の本復旧実施に努めていくとともに、洪水対策について検討していくと県より伺っております。 (建設部河川課) 北上川の河川敷管理につきましては、国においては、平成23年度に「北上川上流樹木管理計画」を策定し、平成24年度より緊急度の高い箇所より計画的に樹木伐採を実施しており、伐採の際には、地域への説明及び河川環境保全モニター等からの意見を伺いながら、自然環境にも配慮しながら進めていると伺っております。 平成25年度においては、三川合流点付近や明治橋から南大橋の区間の伐採を行う予定とのことでございます。 また、県におきましても状況を把握しながら支障木伐採等に取り組んでいると伺っております。 市といたしましても、市民からの個別の要望を国、県へ伝えてまいります。 (建設部河川課)

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名：絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【商工観光部関係】 P 3 中心市街地のみではなく、バランスの良い街づくりの為の対策を講じられたい。	本市のまちづくりの目標は、総合計画の基本構想における世界に通ずる「元気なまち盛岡」の実現を目指しており、この目標を踏まえた都市形成の進め方は、周辺の丘陵地や森林を保全し、中心市街地活性化基本計画に基づく中心市街地の充実を図るとともに、適切な機能分担に基づき、現都心から盛岡駅西口地区及び盛岡南新都市地区において相互に連担する都心を形成し、その周辺には住宅地や農用地を配置することにより、県都及び北東北の拠点都市としての施策をバランスよく実施しているところです。 また、各地域におけるまちづくりにつきましては、ワークショップ等を踏まえて策定した都市計画マスタープラン地域別構想に基づき、各地域のまちづくりの目標を定め、具体的施策の実施に努めております。 さらに、各地域のまちづくりにつきましては、まちづくり懇談会等を通じて地域の皆様との話し合いを行うとともに、地域住民の方々による自主的なまちづくり活動に対して支援しているところであり、今後とも、市民協働の取り組みを行いながら、本市のまちづくりを進めてまいります。 （都市整備部都市計画課）
【都市整備部関係】 P 4 内丸官庁街の再開発計画を策定して、県をはじめ各団体との話し合いを始めていただきたい。	内丸官庁街につきましては、市民の利便性、公務の能率、土地の高度利用を図るために「一団地の官公庁施設」として都市計画決定されており、この都市計画施設は、今後必要なものとして継続されるべきものと考えます。 団地内の建物及び土地利用に関しては、今後の経年変化による建替えなどに応じて、各建物管理者と協議調整を図って行く必要性を認識しており、今後も情報収集に努めるとともに、適宜、国・県との協議調整を図ってまいりたいと考えております。 （都市整備部都市計画課）
空家の管理体制の強化を検討されたい。またリバースモーゲージ制度を導入されたい。	空き家に関しましては、空き家等の適正管理に関する条例案を平成25年12月議会に提出することとしておりましたが、平成25年10月15日から開催されている第185回国会において、「空家対策の推進に関する特別措置法案」の提出が見込まれていることから、

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
人口減少時代に促した都市計画に修正願いたい。	12月議会における条例案の提出は見送ることといたしました。 今後につきましては、法案の制定状況や内容を踏まえて、空き家の適正管理に関するもののほか、空き家の利活用を含めた対策の検討を進めていくこととしております。 なお、リバースモーゲージ制度につきましては、現在、岩手県社会福祉協議会で行っている不動産担保型生活資金の貸付制度もあることから、空き家対策といたしましては、その他の施策・制度も含め、他都市の事例なども参考にして、研究していくこととしております。 （都市整備部都市計画課）
盛岡城跡の鶴ヶ池，亀ヶ池の整備や城跡の樹木の管理していただきたい。	盛岡市総合計画や盛岡市まちづくり研究所，岩手県が定めた盛岡広域都市計画区域マスタープラン等におきまして，本市の将来人口は減少すると予測されております。 また，平成21年度に見直しを行いました「盛岡市都市計画マスタープラン」におきましても，人口減少社会の到来に受け，市街地の周辺部への拡大を規制するとともに効率的で機能的な土地利用を基本としたコンパクトな市街地の形成を図ることとし，それに合わせて，コミュニティの保全や地域の特徴を活かしたまちづくりなどを行うこととしております。 （都市整備部都市計画課）
松園団地や湯沢団地などの団地の活性化策を講じられたい。	盛岡城跡公園の管理につきましては，指定管理者のNPO法人「緑の相談室」に管理を委託しておりますが，平成23年度に策定した史跡盛岡城跡保存管理計画及び平成24年度に策定した史跡盛岡城跡整備基本計画に基づき，石垣修復や老朽化した公園施設の整備とともに，鶴ヶ池，亀ヶ池等の環境整備等を進めてまいります。 （都市整備部公園みどり課） 松園団地や湯沢団地などの郊外における団地におきましては，開発からの年数経過に伴い，少子高齢化と人口減少や空き地，空き家の課題が生じてきていることから，地域の皆様との話し合いを行いながら，用途地域の見直しや公共交通利用促進などにより取り組んでまいりました。 本市では，全国7都市による「ふるさと団地元気創造推進協議会」により国に対して，郊外団地の活性化の政策について提案を行っており，庁内においても「盛岡市郊外住宅

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
- 旧盛岡機関区の土地利用の方向性を示されたい。 - 土地区画整理事業の現状と今後について市民に伝えるとともに、その保留地処分の徹底をされたい。	地活性化検討会」を設立し、郊外団地の活性化に向けた方策の検討を行っております。 平成24年度からは松園ニュータウンにおいて社会実験として「盛岡市空き家等バンク制度」を実施しており、空き家等の利活用を促すことにより、地域の活性化を図ることとしております。なお、本制度については、今後、運用に伴う課題等の検証を行い、区域の拡大などを検討してまいりたいと考えております。 （都市整備部都市計画課） 盛岡駅西側の旧盛岡機関区の用途地域は工業地域となっており、土地の所有者はＪＲ貨物及びＪＲ東日本であります。現在２社により土地の調整や活用の検討が行われており、土地利用の方向性につきましては、土地所有者との情報や意見の交換を引き続き行っておりまして、 （都市整備部都市計画課） 平成24年７月から平成25年10月までに、盛岡市施行の「太田地区」、「道明地区」、「都南中央第三地区」の地権者等に対し、土地区画整理事業の見直しについて、計52回、延べ約 1,480名と意見交換会等を開催しております。 「太田地区」については概ね現計画通りの事業推進を図り、「道明地区」及び「都南中央第三地区」については大幅な区域を縮小した見直しによる事業推進の方針を決定したところです。 今後、「道明地区」及び「都南中央第三地区」については、「土地区画整理事業により整備を図る区域」、「土地区画整理事業によらない手法で整備を図る区域」とともに、意見交換・懇談会等を開催し、具体的な事業計画変更に係る詳細検討や整備計画を策定し、概ね10年で整備完了を目指してまいります。 保留地処分については、平成23年度以降好調に販売が進んでおり、土地区画整理により整備された地域が魅力ある街として認められていると感じております。 今後も広報や「ウェブもりおか」での紹介、市内ハウスメーカー等への情報提供、いわて県民住宅祭への出展など積極的、総合的な販売促進活動に努めてまいりたいと考えております。 （都市整備部盛岡南整備課・市街地整備課）

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
- 盛岡南公園の南側敷地（草むら部分）をスポーツグラウンドとして整備していただきたい。 - 新たな土地利用をする地域での電線地中化や景観意匠施策，融雪対応，自然エネルギーの導入など環境に配慮した住宅街を形成されたい。モデル地区をつくられたい。 - 都市景観賞の地域受賞など景観力が向上するような施策を展開されたい。	盛岡南公園の公園事業につきましては，平成19年度で現開設区域の整備を完了し，現在は休止中としているところでございます。御要望の南側の箇所につきましては，健康広場としての整備が終了しており，スポーツグラウンドとしての再整備は難しい状況となっておりますので，御理解をお願いいたします。 （都市整備部公園みどり課） 電線地中化につきましては，大慈寺地区の歴史的景観を保全し，形成を図るため，平成24年8月に，当該地区を，都市計画法に基づく景観地区及び地区計画に指定しました。地区計画の「公共施設等の整備の方針」の中では，「特にも多くの町家などが連担している市道南大通南大橋線は，景観上も重要な路線であることから，電線類について無電柱化などにより歴史的景観に配慮した整備を図る」こととしており，今後，当該地区において，具体化に向けて検討を進めることとしております。 また，電線の地中化は，景観の形成を促進するうえでも，大きな構成要素であることから，「岩手県無電柱化推進計画」を踏まえ，景観に配慮した街並みの創造に向けて，関係部局や地元との話し合いを進めてまいりたいと存じます。 （都市整備部景観政策課・都市計画課） 都市景観賞の地域受賞につきましては，平成24年度に「I G Rいわて銀河鉄道好摩駅」が都市景観賞を受賞しておりますが，表彰に際しては事業主のほか，駅周辺の清掃管理，緑化等の活動を対象に，地域住民で構成する好摩駅愛護会も表彰しております。今後におきましても地域の景観形成に貢献した地域団体等も表彰対象とするなど，地域の景観が向上するよう進めてまいります。 （都市整備部景観政策課・都市計画課）

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名：絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【商工観光部関係】 P 3 旧外山御料牧場を示す看板設置や資料の展示をしていただきたい。	外山・薮川地域の活性化を図るために、当地域の歴史や事物を広く市民の皆様に知っていただくことが必要であると存じております。旧外山御料牧場跡地に看板設置をとのことにつきましては、御料牧場についての研究や情報収集を今後も継続しながら、地元の皆様の意向や意見を踏まえて対応してまいりたいと存じます。 （玉山総合事務所産業振興課）
【農林部関係】 P 3 日戸地区に生活改善センターの整備をされたい。	日戸地区には、昭和46年度に玉山生活改善センターが設置され、玉山地区公民館や市役所玉山出張所との併用施設として幅広く利用されてきたところですが、平成22年度に玉山地区公民館が新たに建設整備されたことに伴い、それらの機能は新公民館に移行し、地元住民の活動の拠点として活発に活用されるようになり、利用の中心が玉山地区公民館に移り、一方で生活改善センターの利用頻度は大幅に減少しているところです。 以上のような利用状況から、新たな生活改善センターの整備は計画していないところでございます。 なお、当面は、利用者の便宜を考慮し、施設が利用可能な状態を維持できるよう管理を継続することとしているところでございます。 （玉山総合事務所産業振興課）
【建設部関係】 P 3 市道日戸柴沢線の常光寺より先の拡幅整備及び水路の整備をされたい。	市道日戸柴沢線の常光寺より先の拡幅整備及び水路の整備につきましては、新市建設計画の対象路線を優先的に整備することとしておりますが、損傷等の度合いや緊急性を要する箇所につきましては、道路維持管理事業で対応することとしております。平成24年度は道路幅員の狭い一部区間について、狹隘区間の解消を図るために隣接地権者との協議を進め、平成25年度は用地を取得し、道路幅員の確保とともに通行車両のすれ違い

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
P 4 市道日戸柴沢線日の出橋の改良(拡幅)を実施されたい。	を容易にするための工事を実施する予定としております。今後とも通行車両の安全確保のために努めて参りたいと存じます。 (玉山総合事務所建設課) 市道日戸柴沢線日の出橋(日戸柴沢線1号橋)の改良(拡幅)の実施につきましては、一般県道渋民川又線の交差点から、当該橋梁を含めた延長120m区間について、平成26年度の完了を目標として事業を進めており、平成23年度から測量等調査設計を行い、平成24年度は電力柱等の支障物件移転を進め、平成25年度は橋梁部にボックスカルバートを設置する改修整備工事を実施することとしております。平成26年度におきましては、道路舗装及び側溝整備を実施し、事業完了として参りたいと存じます。 (玉山総合事務所建設課)

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名：絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【上下水道局関係】 P 5 ・ 随意契約を見なおし競争原理の導入を図りたい。 ・ 上下水道事業における老朽施設の計画的な更新を促進されたい。人口減少に対する施設の集約化を図られたい。 ・ 災害に対する対策を強化されたい。国土交通省や県と連携した洪水対策の強化や堤防の整備を促進されたい。	契約事務につきましては、競争原理の働く入札の方法を原則としておりますが、災害等時に伴う応急工事や小規模修繕工事など、法令に基づき随意契約の方法によることができる場合に限って随意契約としております。今後とも、引き続き、適正な契約事務の執行に努めてまいります。 （上下水道部水道管路課・浄水課・みず管理課・下水道整備課・下水道施設管理課） 水道管路の更新につきましては、現在、国庫補助を導入して老朽化した管の布設替えを計画的に進めているところであります。今後は、浄水場等を含めた施設につきましても、アセットマネジメントの手法による中長期的な視点に立った、効率的かつ効果的な改築及び更新や維持管理等を実践する予定としております。また、将来の人口減少を見据えた施設の在り方について併せて検討しており、施設整備に係る構想を策定することとしております。 老朽化した下水道施設につきましては、菜園・内丸地区の合流管の管更生や東安庭の中央監視制御棟設備更新を目的とした「盛岡市下水道長寿命化計画」を昨年度、策定し今年度、実施設計を行ったうえで、平成26年度からは国の長寿命化支援制度を活用した改築・更新工事を行うこととしております。また、ポンプ場施設につきましても、今年度施設調査を実施したうえで平成26年度に劣化状況の診断を行うこととしており、診断結果等を基に計画的な改築更新に努めてまいります。 （上下水道部みず管理課・下水道整備課） 災害の対策等につきましては、「盛岡市地域防災計画」や「盛岡市上下水道局災害対策マニュアル」に基づき、市長内部部局と連携を図り、迅速な応急給水及び応急災害復旧等の対応を行うこととしております。 長時間停電に伴う断水対策としては、高圧移動用電源車の配備、低圧移動用電源車の更新、中屋敷浄水場・新庄浄水場間の連絡管整備、滝沢村及び岩手町との連絡管整備を平成25年度までに実施しており、平成26年度は、上乙部ポンプ場の自家発電装置を整備するとともに、重要給水施設までの配水管の耐震化を図り、更なる断水対策を講じるこ

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
鉛管の交換を早期に実施されたい。	ととしております。 下水道施設の地震対策につきましては、「盛岡市下水道総合地震対策計画」に基づき、管路施設等の地震対策を進めており、また、浸水対策につきましては、国や県等の河川管理者と連携しながら、過去の浸水被害の状況などを勘案し、緊急性等を考慮しながら予算確保に努め、雨水排水施設の整備を進めて参ることとしております。 （上下水道部総務課・下水道整備課） 鉛製の給水管につきましては、平成15年の水道法改正により水質基準が改正されたことに伴い、継続事業である経年管対策事業や能力増強事業等のほか、新たに鉛製給水管更新事業を実施し公道内から水道メーターまでの解消に努めてまいりました。また、所有者が自ら行う布設替えに対しても、その工事費の一部を助成してまいりました。 公道内にある鉛管の布設替えを行う鉛製給水管更新事業におきましては一定の目途が立ったことから、今後は経年管更新事業費を増額して実施し、また、給水装置の所有者に対する助成制度の広報を充実させるなど引き続き鉛製給水管の解消に努めてまいります。 （上下水道部給排水課・水道管路課）

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
【市民部関係】 P 2 歩行者の安全とくに<u>通学路の安全対策</u>を強化されたい。	〔歩行者の安全については、市民部くらしの安全課〕 通学路の安全対策につきましては、日頃から学校、家庭及び地域が一体となって取り組んでおり、平成24年度には、警察や道路管理者等と危険箇所の通学路点検を実施しております。この点検を基に作成した対策メニューに従って、現在、対応を進めております。今後とも児童生徒への指導の徹底や関係機関等への働きかけや連携を図りながら、通学路の安全確保に万全を期してまいります。 （教育委員会事務局学校教育課）
【商工観光部関係】 P 3 石川啄木記念館の活性化および函館市・文京区との連携や友好関係の締結を促進されたい。	財団法人石川啄木記念館の活性化につきましては、これまで市では、館の運営に補助金助成を行うとともに、「啄木祭」事業などの石川啄木の顕彰活動に様々な支援を行ってまいりました。 平成25年11月末で財団が解散することとなりましたことから、市では、平成25年12月1日から石川啄木記念館の運営を財団から引き継ぎ、盛岡市文化振興事業団を指定管理者として管理運営を行うことといたしました。今後におきましても、盛岡市の主要なブランドとしての「啄木」を官民一体となり顕彰していかなければならないものと存じております。また、函館市とは「かるた大会」を通じた交流事業を行っております。 （教育委員会事務局歴史文化課）
【教育委員会関係】 P 5 学力および体力の一層の向上策を講じられたい。	学力向上については、教員の指導力の向上を図るために、各校の校内研究会への指導主事の派遣、研究指定校による公開研究会の開催を行っております。また、平成21年度に立ち上げた「盛岡市学力向上対策委員会」において、学力向上にかかる具体策を検討し、今年度は特に「学習規律」「授業改善」「家庭学習」「読書」「小中一貫教育」に取り組んでおります。 体力向上については、各校において、体力・運動能力調査の結果から、十分な運動量を確保しながら体育授業の改善に取り組むこと、日常的に小学生外遊びを奨励すること

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名：絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
小中，中高連携の強化を図っていただきたい。	などに取り組んでおります。また，体力向上に関する公開講座を開催するとともに，スポーツ推進課の事業と連携を図りながら，動きづくりや体力向上に関する研修会に参加するなどの働きかけを行っております。 （教育委員会事務局学校教育課） 小中連携につきましては，平成21年度から全小中学校において小中一貫教育を推進することとし，計画的に研究指定校を定めながら，研究を進めております。 小中一貫教育の推進に当たっては，中学校区や地域の実態を考慮しながら，義務教育9年間を見通した教育活動を工夫するとともに，小中学校の教員が協力して授業の在り方などを研究し，小中学校の連携の強化につながるよう努めております。 また，各中学校区では，生徒指導連絡会議の開催，小中合同によるボランティア活動やスポーツ交流，教員相互の授業参観などに取り組んでおります。 中高連携につきましては，これまでも，高校への体験入学，中学校と高校の教員が互いの授業を参観する研修，生徒指導上の情報を交換する場，高校の教員が中学校に出向いて高校の教育について説明する場等が設定されておりますほか，盛岡市立高等学校教諭1名を「高等学校教育専門指導員」として兼任発令を行い，市立の全中学校を訪問し，市立高等学校に在学している各中学校出身者の学業や生活の様子等について報告を行い，中高の連携を図っております。 （教育委員会事務局学校教育課）
盛岡市立高校の活性化を図られたい。県教育委員会まかせでない，市教育委員会の独自の人事制度や教員配置を通じ，生徒の集まる環境を整備されたい。	平成16年度から21年度まで実施した市立高校教育改革により，大学進学率，就職率が向上し，国公立大学合格者数も増加いたしました。また，部活動奨励により，スポーツ，文化化活動ともに優秀な成績を収めております。 平成25年度に策定した第二次市立高校教育改革基本方針により，教育環境の変化に対応しながら，さらなる高校教育の質の向上に努めてまいります。 受験者の確保につきましては，入試制度改革や中学校訪問などにより学校の教育内容や入試制度などの説明を行なってきたておりますが，今後も引き続き学科の特色や成果等について周知を図り受験者の増加に努めてまいりたいと存じます。 （教育委員会事務局学務教職員課・市立高校）

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
市立高校を活用して、中高一貫（連携）教育を行われたい。	中高連携につきましては、これまでも、高校への体験入学，中学校と高校の教員が互いの授業を参観する研修，生徒指導上の情報を交換する場，高校の教員が中学校に出向いて高校の教育について説明する場等が設定されております。今後も，中高連携が更に充実・拡大するよう市内の中学校や高校に働きかけてまいります。 （教育委員会事務局学校教育課）
市内全域の学校教育施設等の整備促進計画案の公表（統廃合含む）をされたい。中学校での先行を行われたい。	学校教育施設等の整備促進計画につきましては、「学校施設等整備基本方針」に基づき整備してまいります。 盛岡市立小中学校の統廃合につきましては，平成21年4月に盛岡市小中学校適正配置基本方針を策定し，平成21年度から平成23年度までに基本方針に関して聴取等を行った保護者，学校関係者，地域からの意見等を踏まえ，平成24年11月に盛岡市小中学校適正配置基本計画を策定しております。 計画では，中学校単位での統合を先行することについては特に触れてはおりませんが，地域との懇談等において，適正配置に関する意見や要望が出された場合には，適切に対応してまいりたいと存じます。 （教育委員会事務局総務課・学務教職員課）
中学校の部活動にかかる費用を助成して頂きたい。	中学校のクラブ活動費の支援につきましては，経済的理由により就学が困難と認められる生徒のうち，国が支援を行う要保護生徒に対しては，平成21年7月から生活保護費の教育扶助学習支援費の一部として支給してきております。 要保護者に準ずる程度に困窮している者の準要保護生徒に対しては，国の制度に準じながら各市区町村独自で判断し支給することとされておりますので，当市では，平成26年度からの援助実施に向け検討しているところです。 また，県大会，東北大会及び全国大会へ派遣するために，生徒の旅費の一部を盛岡市中中学校体育連盟に助成しており，26年度についても継続してまいりたいと存じます。 （教育委員会事務局学務教職員課・学校教育課）
学校司書の配置をしていただきたい。	岩手県教育委員会では，27学級以上の小学校，22学級以上の中学校に，専任司書教諭を配置することとしており，平成25年度におきましては，市内で該当する小学校1校に1名が配置されております。

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
- 市立図書館の早期整備について教育委員会の考え方を示して頂きたい。 - 小中高における特別支援学級の充実をされたい。 - 教育予算を増やし、耐震工事・屋根塗装・老朽校舎整備・プール改修など教育条件整備に努められたい。	また、学校図書館担当の非常勤職員として緊急雇用対策事業により平成21年度から「読書活動推進員」を配置しておりますが、同事業は今年度で終了となるため、来年度も一般財源の確保により継続するよう努めてまいりたいと存じます。 (教育委員会事務局学務教職員課) 市立図書館の整備につきましては、抜本的な改修や改築が必要であることから、図書館のあり方、設置場所、適正な規模、利用環境などを検証した上で、「公共施設保有の最適化と長寿命化のための基本方針」に基づき、改築の方向性について検討を行いながら、市総合計画実施計画に位置付けるよう引き続き努力してまいります。 (教育委員会事務局生涯学習課) 特別支援学級の指導の充実のため、現在、小中学校の特別支援学級の全担当者を対象に、教育相談の対応等の専門的な研修を行っております。また、初めて特別支援学級を担当した教員には、悉皆で、教育課程の編成や障がいへの対応等についての研修を行っております。 さらに、各学校の特別支援教育コーディネーター等に対し、校内の就学支援の進め方や個別の指導計画の作成等に係る研修を行うなど、研修体制の整備に努めております。 (教育委員会事務局学校教育課) 耐震化につきましては、「盛岡市立小中学校耐震化計画」に基づき、平成27年度までに耐震化を完了するよう努めてまいります。屋根塗装、老朽校舎整備及びプール改修につきましては、経過年数や老朽化の状況を勘案しながら、計画的に整備するよう努めてまいります。 (教育委員会事務局総務課)
P 6	
盛岡に誇りを持てる小中学生を育てるため先人に限らず現在活躍している地元人を紹介して講演を実施されたい。	現在各学校では、進路学習や道徳、総合的な学習の時間等に、卒業生や地域で活躍されている方々をゲストティーチャーに招いて、児童生徒に対して講話等を行っております。今後も、地域の教育力を学校教育に導入しながら、盛岡に誇りを持てる児童生徒の育成を図るよう、各校に働きかけてまいります。

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名：絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
・ 情報教育の更なる推進に向けて、LAN構築・指導者育成に努めること。	（教育委員会事務局学校教育課） 校内LANの整備につきましては、導入時に多額の経費がかかる上、ランニングコストも高額なことから、実現が困難な状況にありますが、低コストでの導入実現に向け、引き続き情報収集するとともに、学校施設の増改築や大規模改造に併せて、LAN基盤の整備を図るよう努めてまいります。 指導者研修につきましては、情報教育推進のため、平成23・24年度の2か年計画で、全小中学校の情報教育担当教諭を対象として、教育研究所主催の講座を開設しております。また、コンピュータ操作に係る公開講座を開設し、指導者育成に努めております。 （教育委員会事務局総務課・学校教育課）
・ 玉山区の洪民運動公園陸上競技場の整備促進	〔市民部スポーツ推進課〕
・ 市営野球場の早期着工計画に向けた対策を講じられたい。	〔市民部スポーツ推進課〕
・ 市営野球場隣に85mの円形（フラット広場）多目的スポーツ広場の設置を要望	〔市民部スポーツ推進課〕
・ 芸術・文化都市条例の制定を行い、それに付随した都市づくりを行われたい。	〔市民部文化国際課〕
・ 市立学校の生徒が年間1回は市営各施設を利用するよう奨励されたい。	現在各学校では、生活科や社会科、理科等の授業の一環として、施設見学を取り入れながら学習しております。 また、小・中体連がそれぞれ主催する大会の会場を、市営施設とするなど、多くの児童生徒が利用している状況にあります。今後も、市営施設等を活用しながら、児童生徒の学力や体力の向上に努めるよう、各学校に働きかけてまいります。 （教育委員会事務局学校教育課）

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
市立小中学校給食基本方針を早急に決定しようとする事には憂慮する。中学校給食について検討した際（2000年6月）と同様に市民から募った公募委員を含む検討委員会を立ち上げ話し合いをしていただきたい。	「盛岡市立小中学校学校給食基本方針」は、保護者等学校関係者や有識者などを委員とする「盛岡市学校給食検討会」が平成22年3月に提出した報告書に基づき、給食の安全安心を確保するために施設整備や、食育の充実などを図っていくことを目的に策定しようとするものであります。 教育委員会では、方針の策定に当たっては、方針（案）についてのパブリックコメントを実施するとともに、全市立小中学校の保護者を対象とした意見の募集を行いました。現在は、寄せられた意見の結果を踏まえ、内容の修正を行っているところであります。 （教育委員会事務局学務教職員課）